

研究課題名	過敏性腸症候群（IBS）症状緩和プロダクト開発に向けた基礎検討
研究責任者名	広島大学 脳・こころ・感性科学研究センター 准教授 笹岡 貴史
研究期間	2023年3月1日(倫理委員会承認後)～2024年 3月31日
対象者	2021年6月から2022年1月の間に、広島大学脳・こころ・感性科学研究センターで「安静時・課題時の簡便な脳波・生理計測」を行う研究（E 疫-965; 課題名:感性情報の可視化および定量化へむけての基盤研究）に参加された方
意義・目的	過敏性腸症候群 (IBS) 患者のほとんどは通院や市販薬の使用をしておらず、未治療のまま生活しています。そのような一般に隠れている IBS 患者向けの気づきを促し、自宅などでも活用可能なヘルスケア症状緩和プロダクト開発が期待されています。これまでに患者を対象としたオーバーザカウナー（OTC）またはプレスク립ションを行う商品が複数提案されていますが、通院未治療者・または通院患者を対象とした、簡便な自己治癒力を向上させる代替治療技術を開発することを目的としています。本研究ではこの目的のための解析において、健常群としてデータを使用させていただきます。
方法	本研究は、研究で得られた脳波データ、生理計測データ、質問紙データを使用して行います。取得した情報は、氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく研究用の符号をつけ、どなたのものか分からないようにして本学および共同研究機関にて解析に用います。
研究の実施体制	研究代表者 広島大学所属 脳・こころ・感性科学研究センター 准教授 笹岡 貴史 研究機関の長 田中 純子 共同研究機関 株式会社Xiberlinc 代表取締役 町澤 昌宏
試料・情報の管理責任者	広島大学 脳・こころ・感性科学研究センター 准教授 笹岡 貴史
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には、提供していただいた情報や、試料に基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人を識別できる情報は含まれません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8553広島県広島市南区霞1丁目2番3号 Tel : 082-257-1722 広島大学脳・こころ・感性科学研究センター 准教授 笹岡 貴史